

## コンバート後、売買処理リース資産の管理を [リース資産登録]メニューで一本化する手順

この資料は以下の製品について記述したものです。

- ・償却奉行 i シリーズ Ver.1.57 以降 (Bシステムを除く)
- ・固定資産奉行V ERP シリーズ Ver.1.57 以降

### 内 容

償却奉行21は、売買処理リース資産の償却情報を[資産明細入力]メニュー、リース情報を[リース資産入力]メニューにて、それぞれ管理していましたが、固定資産奉行V / 償却奉行 i は、[リース資産登録]メニューでまとめて管理することが可能です。

償却奉行21から固定資産奉行V / 償却奉行 i にコンバートすると、売買処理リース資産については、償却奉行21の仕様と同様に、[資産登録]メニューと[リース資産登録]メニューそれぞれに登録されます。このように、2つのメニューに分かれて登録されている資産を、[リース資産登録]メニューで一本化する手順をご案内します。

※[リース資産登録]メニューで一本化せずに、償却奉行21と同様に、売買処理リース資産の償却情報を[資産登録]メニュー、リース情報を[リース資産登録]メニューにて、それぞれ管理しても問題ありません。

※本文書では、固定資産奉行V / 償却奉行 i へのコンバートが完了していることを前提とします。

**注 意**

処理を行う前に、必ずバックアップデータを作成してください。

# 操作方法

## 【手順1】

対象となる売買処理リース資産の、償却情報を出します。

- ①[随時処理] - [汎用データ作成] - [資産データ作成] - [資産データ作成]メニューを開き、「資産データ作成-パターン選択」画面で「新規」ボタンを押します。

- ②「資産データ作成-出力条件設定」画面の各ページを以下のように設定します。

＜出力条件1ページ＞

パターン名 : 任意の名称を入力してください。  
未入力の場合、資産データ作成を行うことはできません。

### <詳細条件ページ>

対象となる売買処理リース資産の資産データのみ出力するため、検索条件を登録して、該当する資産を抽出します。

**検索例：** 売買処理リース資産の償却方法がすべて『13:リース期間定額法』の場合

情報種類 : 償却  
項目 : 償却方法  
会計基準 : 税務 ※償却奉行 i の場合、「会計基準」はありません。  
条件値 : 『13:リース期間定額法』  
条件 : 等しい

上記のように設定して「登録」ボタンを押します。

### <出力設定ページ>

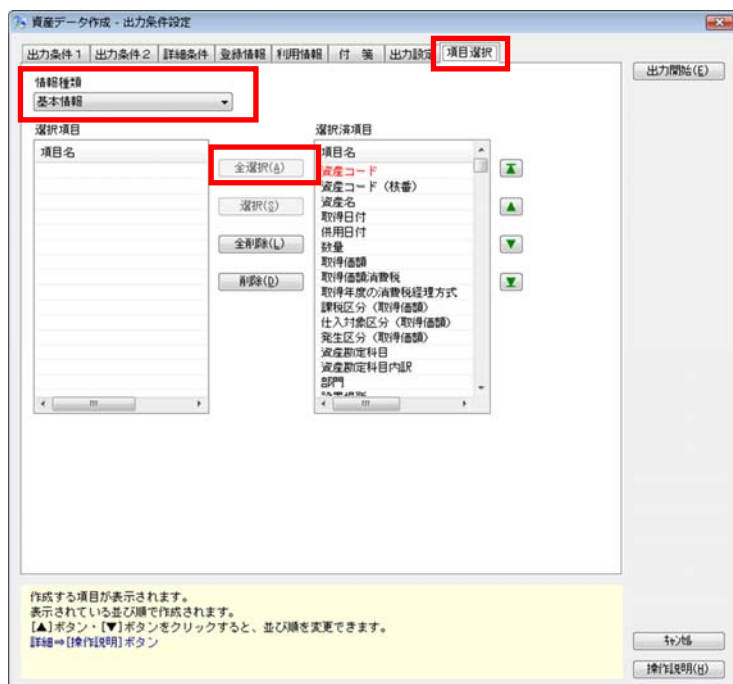
作成形式 : 「OBC 受入形式」を選択します。

出力先ファイル名 : 「参照」ボタンより資産データの作成先を任意に指定します。

### <項目選択ページ>

情報種類：「基本情報」を選択します。

選択済項目：「全選択」ボタンを押して、すべての項目を「選択済項目」欄に移動します。



③「出力開始」ボタンを押し、資産データを作成します。

## 【手順2】

作成した資産データを加工します。

①【手順1】で作成したファイルを開きます。

②資産コードと資産コード(枝番)を、加工します。

資産コード : FAFA001 の列

資産コード(枝番) : FAFA002 の列

1 行目の列の記号を、以下のように変更します。

FAFA001 → FALA001 : 資産コードからリース資産コードに変更

FAFA002 → FALA002 : 資産コード(枝番)からリース資産コード(枝番)に変更

2 行目以降のデータを、対応するリース資産のコード、枝番に変更します。

<例>:

資産側 : 資産コード 100、枝番なし

リース資産側 : 資産コード 100、枝番 L

A 列はコードが同じ「100」のため、変更する必要がなく、B 列を空欄から L に変更します。

変更前:

	A	B	C
1	FAFA001	FAFA002	FAFA003
2	100		応接セット
3	101		備品ロッカー
4	102		書類整理用棚
5	103		本部フロア複合機
6	104		会議室の椅子
7	105		戸田工場看板
8	106		中型クレーン付トラック
9	107		小型クレーン付トラック
10	108		解析用サーバ
11	109		デジタル解析図化機
12	110		デジタルステレオカメラ

変更後:

	A	B	C
1	FALA001	FALA002	FAFA003
2	100	L	応接セット
3	101	L	備品ロッカー
4	102	L	書類整理用棚
5	103	L	本部フロア複合機
6	104	L	会議室の椅子
7	105	L	戸田工場看板
8	106	L	中型クレーン付トラック
9	107	L	小型クレーン付トラック
10	108	L	解析用サーバ
11	109	L	デジタル解析図化機
12	110	L	デジタルステレオカメラ

③以下の列を、削除します。

【固定資産奉行Vの場合】

FAFA003～FAFA054: 資産コード・資産コード(枝番)以外のヘッダー、「基本」ページ全項目、「付属情報」ページ全項目

FAFA118 : 保証額のもとになる額(税務)

FAFA135 : 保証額のもとになる額(会計)

FAFA139 : 新定率法資産取得日付

FAFA305 : 貯蔵品振替額

FAFA306 : 貯蔵品除却日付

FAFA323 : 時の経過による調整額の計上

FAFA324 : 除却日付(除去費用)

FAFA330～FAFA338: 「除却・売却」「有姿除却」ページの債務履行の全項目

FAFA339 : 資産除去債務決済額 消費税率

FAFA340 : 資産除去債務決済額 消費税額 端数処理

FAFA550～FAFA552: 合併情報

FAFA040 : 月次確定後登録資産 資産計上日付

FAFA041 : 月次確定後供用資産 償却開始月



FAFA040、FAFA041はFAFA552(合併情報)の右側に出力されます。  
FAFA003～FAFA054の列の間にはありません。

【償却奉行 i の場合】

FAFA003～FAFA054: 資産コード・資産コード(枝番)以外のヘッダー、「基本」ページ全項目、  
「付属情報」ページ全項目

FAFA118 : 保証額のもとになる額(限度)

FAFA135 : 保証額のもとになる額

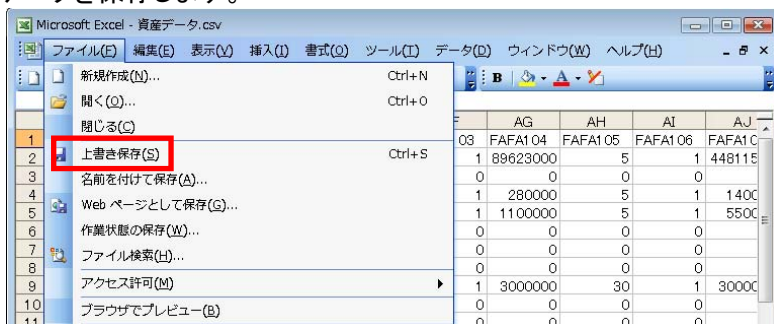
FAFA139 : 新定率法資産取得日付

FAFA305 : 貯蔵品振替額

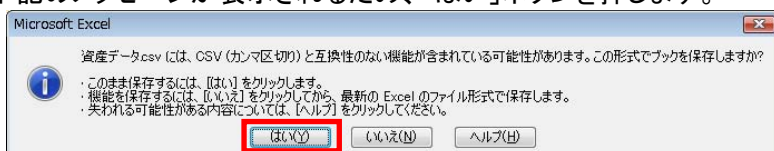
FAFA306 : 貯蔵品除却日付

FAFA550～FAFA552: 合併情報

④データを保存します。



下記のメッセージが表示されるため、「はい」ボタンを押します。



Excel を閉じる際に、下記の保存確認メッセージが表示されます。  
すでに保存しているため、「いいえ」ボタンを押します。



### 【手順3】

加工した資産データを、リース資産データとして受け入れます。(リース資産データと統合します。)

#### 注意

この処理を行う前に、必ずバックアップデータを作成していることをご確認ください。

- ①[随時処理] - [汎用データ受入] - [資産データ受入] - [リース資産データ受入]メニューを開き、「リース資産データ受入-受入条件設定」画面を表示します。
- ②受入条件を設定します。
  - ・「受入ファイル設定」ページの「受入データ形式」を「OBC受入形式」に設定します。
  - ・「受入ファイル設定」ページの「受入データ」の中の「基本情報」をダブルクリックして、「受入」列にチェックを付けます。
  - ・「参照」ボタンを押して、【手順2】で加工した資産データを受入データとして指定します。

- ・「重複条件設定」ページの「すでに登録済みの資産コードと重複する汎用データを受け入れる」にチェックを付けます。

リース資産データ受入 - 受入条件設定

受入ファイル設定 | **重複条件設定** | エラー情報設定

処理選択

☒ すでに登録済みの資産コードと重複する汎用データを受け入れる

受入開始(E)

キャンセル  
操作説明(H)

受け入れる情報種類を選択し、チェックを付けます。  
[参照...] ボタンをクリックし、受け入れる汎用データのファイル名を指定します。  
ファイル名を指定すると、汎用データの内容が表示されます。  
詳細⇒[操作説明] ボタン

- ③「受入開始」ボタンを押して、処理を実行します。
- ④受入が終了すると、「受入結果確認」画面が表示されます。  
受入結果を確認し、「閉じる」ボタンを押します。

リース資産データ受入 - 受入結果確認

確認内容 | 印刷設定 | プリンタ設定

汎用データ受入が終了しました。  
受入結果を確認できます。

内容確認

☒ 受入済データ  
☐ 未受入データ      なし

情報種類	件数
基本情報	11件

受入済データ  
受け入れられた汎用データの内容が出力されます。  
未受入データ  
受け入れられなかった汎用データの内容が出力されます。未受入理由も出力されます。  
詳細⇒[操作説明] ボタン

印刷(P)  
プレビュー(V)  
転送(E)...

閉じる(C)  
操作説明(H)

ここまでの手順は、リース資産の「基本情報」を、「リース資産登録」メニューで一本化しました。  
[資産登録]メニューに対象リース資産の「移動情報」と「減損情報」が存在する場合、  
必要に応じて、資産データ作成⇒リース資産受入の手順(上記手順1～手順3)にて、  
「移動情報」と「減損情報」も、「リース資産登録」メニューで一本化してください。



#### 【手順4】

対象となる売買処理リース資産の資産データを、固定資産奉行V / 償却奉行 i から削除します。

①[[随時処理] - [データ一括処理] - [一括削除] - [資産一括削除]メニューを開きます。

②対象となる売買処理リース資産の情報のみ削除するため、検索条件などを登録して、データを絞ります。

③画面を表示して、対象外にしたい資産があれば、チェックを外します。

対象となる資産だけにチェックが付いている状態で、[F2:実行]を押します。

削除対象	資産コード	枝番	資産名	取得日付	供用日付	数量	取得価額
<input checked="" type="checkbox"/>	L0008-0001		中型クレーン付トラック	平成22年 4月 1日	平成22年 4月 1日	1.00	3,800,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L0008-0002		小型クレーン付トラック	平成22年 4月 1日	平成22年 4月 1日	1.00	2,800,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L0009-0001		解析用サーバ	平成22年10月 1日	平成22年10月 1日	1.00	6,500,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L0009-0002		デジタル解析図化機	平成22年10月 1日	平成22年10月 1日	1.00	4,200,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L0009-0003		デジタルステレオカメラ	平成22年10月 1日	平成22年10月 1日	2.00	5,800,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L001-00001		本社無線アンテナ	平成22年 4月 1日	平成22年 4月 1日	1.00	4,200,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L001-00002		戸田無線アンテナ	平成22年 6月 1日	平成22年 6月 1日	1.00	1,600,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L001-00010		高速演算用コンピュータ	平成14年 5月 1日	平成14年 5月 1日	1.00	5,000,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L001-00015		工作用機械	平成15年 6月 1日	平成15年 6月 1日	1.00	5,600,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L001-00022		矢部加工用機械	平成22年 4月 1日	平成22年 4月 1日	1.00	8,000,000
<input checked="" type="checkbox"/>	L001-00024		矢部加工用機械S	平成22年 4月 15日	平成22年 4月 15日	1.00	5,000,000
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							

F1 操作説明 F2 実行 F3 前画面 F4 次画面 F5 ジャンプ F6 全解除 F7 F8 F9 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

④バックアップの確認メッセージが表示されます。

「はい」ボタンを押して、事前に作成したバックアップデータと別のフォルダに、バックアップデータを作成してください。

バックアップ確認

処理を実行する前に、現在使用しているデータ領域のバックアップを行いますか？

注意

資産一括削除実行後は、実行前の状態に戻すことができません。  
万が一に備え、現時点でのバックアップを行うことを強くおすすめします。

はい(Y) いいえ(N)

- ⑤削除が終了すると、「資産一括削除 - 結果確認」画面が表示されます。  
結果を確認し、「キャンセル」ボタンを押します。

資産一括削除 - 結果確認

確認内容 | 印刷設定 | プリンタ設定

資産一括削除が終了しました。  
実行結果を確認できます。

内容確認	
<input checked="" type="radio"/> 削除資産	11件
<input type="radio"/> 削除失敗資産	0件

印刷(P)

プレビュー(I)

キャンセル

操作説明(H)

以上